

NGV Information

天然ガス自動車

【発行】東邦ガス株式会社 天然ガス自動車推進グループ 【制作協力】名古屋市環境局公害対策部交通公害対策課

低公害車フェア なごや2005開催

環境と人間の共生をテーマに好評開催中の「愛・地球博」に関連し、「低公害車フェアなごや2005」が5月14日(土)・15日(日)の2日間、ささしまサテライト会場で開催されました。会場には、天然ガス自動車など、36台ものエコカーが大集合。

次世代低公害車として燃料電池車や、8輪駆動のスーパー電気自動車「エリーカ(Eliica)」も特別出展されました。また、ユニークエコドライブ宣言の募集や工作教室、会場内のポイントを巡るエコカーアドベンチャーなど、多彩な体験・参加型イベントも満載。親子でイキイキと楽しむ参加者も多く、両日で35,000人を集める盛況となりました。



新車情報



いすゞエルフCNG MPI

新型4HV1エンジン(4.6ℓ)を搭載してクラストップの動力性能を達成。マルチ・ポイント・インジェクション(MPI)方式の燃料噴射システム、電子制御による空燃比の最適な制御で優れた低排出ガス性能を実現しました。

NOx 70%オフ
黒煙0(ゼロ)ついに登場!
NEW天然ガストラック



日産ディーゼル「コンドル」CNGトラック

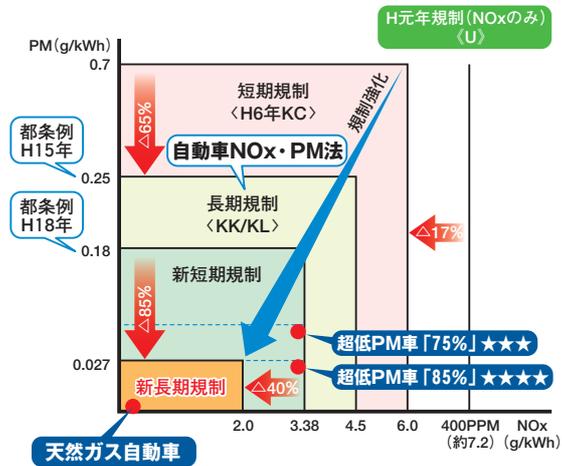
従来のリーンバーン(希薄燃焼)方式をストイキ(理論混合比)燃焼方式に変更、三元触媒内蔵型マフラーの装備により、NOxを大幅に低減。電子制御スロットルシステム採用で、運転感覚もよりスムーズになりました。

クローズアップ

新長期排出ガス規制車

本年10月から適用される「新長期規制」では、ディーゼル重量車の排出基準値がPM値0.027g/kWh、NOx値2.0g/kWhと定められています。天然ガス自動車は、これよりさらに厳しい数値をクリア。自動車メーカーは天然ガスのクリーン性を追求し、すでに数社が新長期規制の1/4を実現。その数値はディーゼル車のポスト新長期規制の目標値（PM値0.01g/kWh、NOx値0.7g/kWh）もしのぎ、改めてCNG車の優れた実力が証明されています。

■ 排出ガス規制の推移(ディーゼル重量車)



* INTERVIEW *

いすゞ自動車さまインタビュー

CNG車初の新長期排出ガス規制適合車となった「エルフCNG MPI」。いすゞ自動車(株)の若村さま、いすゞ自動車東海(株)の嘉藤さまに同車への期待、社としての取り組み等について伺いました。

いすゞ自動車はCNG車の特長である突出した低排出ガス性能・低CO₂・代替エネルギー性に着目し、CNG車を将来にわたり有望な車と位置付け、ディーゼル車同様日々研究開発を進めています。今回のモデルチェンジでは単に排ガス性能をさらに良化させるだけではなく、プロの使う道具であるトラックとしての実用性も向上させることができました。今後もCNG車が特別な車ではなく「ごく普通に選択いただける車」とするべく商品開発を進めていきたいと考えています。

(若村さま)



左：若村 泰弘さま、右：嘉藤 賢さま

いすゞ自動車株式会社
プログラムマネジメント部
国内マーケティンググループ
主事 若村 泰弘さま

いすゞ自動車東海株式会社
営業企画本部 営業開発部
営業チーム
主任 嘉藤 賢さま

未来を考え、低公害化へ挑むことは自動車業界に携わる人間の責務と考えています。今回のMPIは現在発売されている全ての商用車の中で最もクリーンな車両でありながら、問題とされていた航続距離とパワーの問題を大幅に改善したものに仕上がりました。よって食品会社の車両の需要も期待できますし、エコ・ステーションの整備された地域の自治体からも積極的なお話をいただいております。今後もお客様の求める性能や補助金制度のご相談にも細やかにお答えしつつ、一層の普及に努めたいと思います。

(嘉藤さま)

中部国際空港(株)さまの 環境への取り組み

中部から世界への玄関口として、華々しく誕生した中部国際空港「セントレア」。その経営母体である中部国際空港株は、国内の空港事業者初の、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を取得した「環境に配慮した空港」として注目されています。ここでは、同社の低公害車利用の取り組みについてレポートします。



◎空港関連車両の2割が低公害車

セントレアには、①高効率コージェネレーションシステム、②太陽光発電システム、③駐機中の航空機のための地上動力施設、④低公害車の導入、⑤地下埋設管配管による航空機燃料給油施設の5つのポイントを中心に、環境への細やかな配慮が盛り込まれています。その中でも、機能的な空港運営に欠かせない輸送・移動機能を担う空港車両について、エコカーがどのように貢献しているかをクローズアップしてみましょう。

開港時点において、セントレア全体で使用する車両台数は約850台。うち低公害車はおおよそ2割を占め、約30台のCNG車をはじめ、電気自動車、ハイブリッド車、低排出ガス自動車等が積極的に導入されています。

◎CNG車導入への積極的な試み

特筆すべきは、基本プランの「セントレア低公害車導入計画」の中において、CNG車の優先的な導入が、重点取組項目とされていること。その中で、通常業務に使用する連絡車両等についてのCNG化を推進していく方針がとられています。

すでにトヨタ自動車のプロボックスを導入、「環境に優しいCNG車」をアピールしており、エコスタンドも、一般客が立ち入りできる非制限エリアと、制限エリアに各1基づつが設けられています。

また、直営店のテナント業者の運搬部門において、極力CNG車を使う形で「グリーン配送」を実施しています。さらに、社内外の利用者の低公害車の利用を促す目的で、駐車場の利用料金に優遇制度を設けるなど、数々の取り組みが進められています。



お得な
駐車場割引!

低公害車割引!

天然ガス自動車・ハイブリッド自動車・電気自動車・メタノール自動車ご利用の方は、車検証呈示で**300円割引**いたします。

天然ガス自動車2,000台達成記念式典

当社エリアの天然ガス自動車が平成16年6月に2,000台を突破したことを記念して、2月25日、名古屋市中小企業振興会館で天然ガス自動車2,000台達成記念式典を開催しました。

当日は、自治体、天然ガス自動車を導入いただいているお客さま、エコ・ステーション事業者さま約120人にご出席いただき、(財)運輸低公害車普及機構などの3団体から感謝状が贈呈されました。また、記念講演として、京都大学教授 塩路昌宏氏に「NGVを取り巻く状況と技術的課題」と題してご講演いただきました。

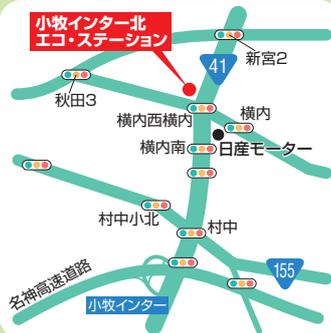


エコ・ステーション情報

小牧インター北 エコ・ステーション

2005年3月26日
OPEN

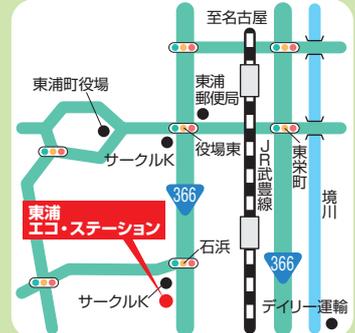
運営者：八光石油株式会社
所在地：愛知県小牧市大字
横内字西横内33-6
☎：0568-73-3773



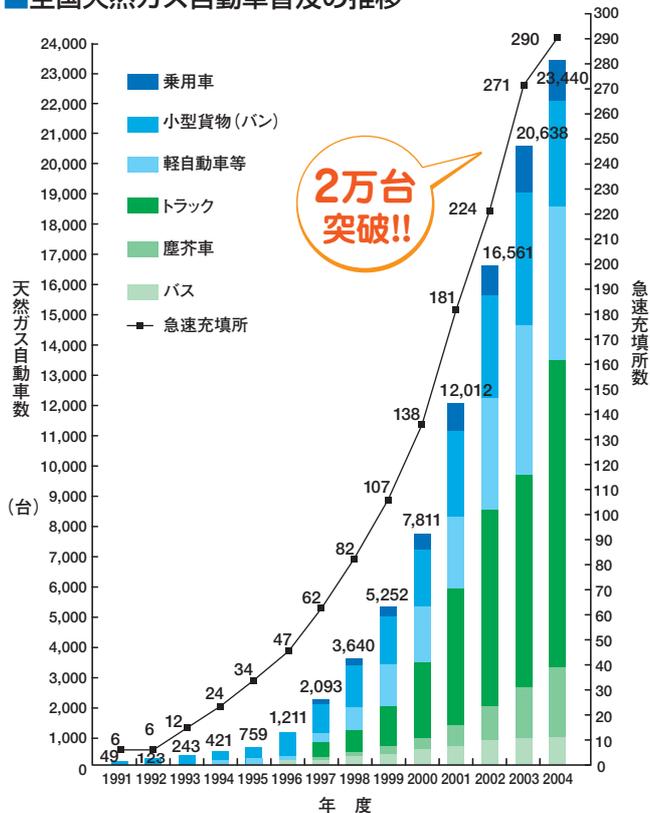
東浦 エコ・ステーション

2005年5月24日
OPEN

運営者：山力石油株式会社
所在地：愛知県知多郡東浦
町大字生路字生片
山52-3
☎：0562-83-4178



全国天然ガス自動車普及の推移



全国の普及状況

(平成17年3月末現在)

導入地区	北海道	東北	関東	東海・北陸	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
軽自動車	79	71	1,620	1,005	1,579	160	522	5,036
乗用車	54	31	591	304	191	91	55	1,317
小型貨物(バン)	35	61	1,440	819	934	101	115	3,505
トラック	90	81	5,870	966	2,776	260	174	10,217
塵芥車	21	10	1,461	164	588	18	21	2,283
バス	14	19	596	140	289	14	10	1,082
フォークリフト	657	0	44	7	88	0	27	823
合計	950	273	11,622	3,405	6,445	644	924	24,263

※フォークリフト等には、ターレット車、トーイングトラクター等も含む

東邦ガス供給区域の普及状況

(平成17年4月末現在)

事業所	国・自治体	運送事業者	一般民間企業	学校法人等	東邦ガス	合計
軽自動車	85	0	145	0	232	462
乗用車	41	4	79	1	80	205
小型貨物(バン)	207	8	258	1	193	667
トラック	46	561	166	0	6	779
塵芥車	55	49	9	0	0	113
バス	54	6	4	50	3	117
フォークリフト	0	0	0	0	5	5
合計	488	628	661	52	519	2,348

天然ガス自動車に関するお問い合わせ

東邦ガス(株) 天然ガス自動車推進グループ 電話: 052-872-9356
〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19-18 FAX: 052-881-0008

